

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら春日部駅前教室

保護者等数(児童数) 19 回収数 14 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2			体を動かして遊べるスペースもあっていいと思う。	怪我等に気を付けながらスペースを活用していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			3		お便り等で職員紹介等を行っていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	3		2	あまり覚えていないが、段差など少なかった気がします。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11				子どもの苦手や出来るようになってほしいことを取り入れて計画を作成してもらっている。	今後も定期的な面談を行ってニーズに合わせた支援を行っていく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1			色々な活動があって面白いと思う。	子どもたちが楽しめるようなイベントを立案していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		7	5	障害のない子どもとの交流があれば教えてほしい。	現状交流がないので、今後活動等で交流の機会を増やせるようにしていく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			契約時にして頂いた。	継続して分かりやすく伝えられるように心掛けていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14				色々な教えていただけている。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1			面談時に子どもの様子を聞いていただき、困っていることや悩んでいる事にアドバイスをいただけて助かっています。	定期的な面談でアドバイス等が出来るよう継続して行っていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	7	3	コロナも落ち着いてきたので親子行事などがあると嬉しい。	保護者の参加できる活動等を立案して取り組んでいく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			1	すぐに対応していただいていると思う。	継続して行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13			1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14				ホームページの更新をもう少し早いサイクルでやっていただけると嬉しい。	早いサイクルで更新出来るように心掛けていく。
14 個人情報に十分注意しているか	14						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3		1	入所から数年たっているのでは覚えていない。	再度説明会等を行うように検討していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	2	4		定期的に避難訓練を行っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	1			とても楽しく利用させていただいている。	今後も子供たちが楽しく通所出来るように運営していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	14				親身になって支援していただけていて満足している。	継続して満足いただけるように支援していく。

198 15 16 20

80%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら春日部駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	5	児童の人数に合わせて適切に配置するよう意識している。	職員全体がスペースを意識して活動していく。
	2 職員の配置数は適切である	7	5	適切な職員配置を常に意識している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	3		できるだけ段差のない空間づくりをしていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	6	全体での共有、周知を意識して行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	4	保護者様からの意見を取り入れながら支援を行っている。	複数回行えるように取り組んでいく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	6	毎年の公開をおこなっている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	7	定期的に本部の方を招き助言をいただいている。	助言を受け、指導いただいた部分の対応を意識して行う。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	5	外部研修等に参加するよう取り組んでいる。	情報を取り入れ、多くの研修に参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	6	面談を定期的に行い、支援を行っている。	継続してニーズに合わせた支援を行う。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	9		適切なツールを取り入れて行えるようにしていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	4	担当者が全体の意見を取りまとめてイベントの立案を行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	3	職員全体から意見を集めて色々な活動を行えるようにしている。	今後も継続して固定化をしないようにしていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	3	時間配分やその日の活動等を時と場合に応じて対応している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	4	個別活動と集団活動を時間を分けて行っている。	継続して行っていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	1	朝礼を毎日欠かさずに行っている。	時間を長くとれるようにスケジュール調整をしていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	8		短い時間になってしまっているため、時間の調整をできるよう意識していく
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	3	連絡帳に記入して記録を残している。	継続して行っていく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	5	定期的に面談を行い支援計画を作成している。	継続して行っていく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	6		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	6		あまり参加ができていないので、スケジュール調整をして積極的に参加できるようにしていく。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	4	毎週の下校時刻の把握、先生からの引き渡しなど連携を行っている。	学校との直接的なやり取りは送迎時のみとなっているので、密に連携が取れるようにしていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	12	該当児童なし	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	9		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	12	該当児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	8	参加できるものには参加して研修を受けている。	スケジュールを調整して多くの研修等に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	12		現状は関わりがほとんどないので、情報共有や関わりが持てるように取り組んでいく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	9		毎回参加できているわけではないので、多く参加できるようにスケジュール調整をしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	5	送迎時や面談時に状況等の情報共有を行っている。	継続して行っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	6		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	4	契約時に分かりやすく伝えられるように心掛けている。	継続して行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	4		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	12		保護者会等を行えていないので開催できるように日程を調整等を行っていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	3	ご連絡があった際にはすぐに対応できるように心掛けている。	継続して行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	5	お便り等で情報発信を行っている。	継続して行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	9	3	個人情報が入力しているものなどは気を付けて保管、管理している。	改めて管理を徹底する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	5		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	12		地域住民との関わりが少ないので、情報収集をして参加できるようにしていく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	5	契約時に説明をしている。	改めて保護者様も参加できる訓練、説明会の実施を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	4	定期的に避難訓練をイベントとして取り組んでいる。	継続して行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	7	定期的に虐待防止研修を行っている。	継続して行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	6	契約時に保護者様の同意を得て対応している。	継続して行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	4		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	6	些細な事でも記入できるように心掛けている。	